

2024年7月26日取材

栃木県

産地レポート

ホウレンソウ

鶏頂山生産組合

「晩抽サマージェット」

高温期に生育停滞が少なく、
高冷地の盛夏どりホウレンソウの安定出荷に貢献（編集部）

地域概況

栃木県開拓農協
鶏頂山生産組合

群馬県 栃木県 茨城県



↑板橋輝夫さん（中央）奥様の照美さん、ご子息の人史さんご家族。



↑板橋さんのハウス群。作業性を考えて通路部分に屋根を作ってハウス間の移動を容易にしている。裏面も跳ね上げ式、巻き上げ式など常に作業性の向上を考えている。



「晩抽サマージェット」は高冷地5ヶ月まきにも適する極晩抽性品種で、かつ多収性と作業性を両立した品種として育成されました。今回、関東地区の高冷地ホウレンソウで評価の高い鶏頂山生産組合でホウレンソウ専作農家である板橋輝夫さん、富田茂之さんに評価をお聞きました。

板橋輝夫さんの栽培概要と「晩抽サマージェット」について

雨よけハウス栽培で間口5・4mハウス（長さは地形に合わせていろいろ）を160棟使用し、時期と気候に合わせて品種を使い分けながら4月20日ごろから9月下旬まで順次播種します。ハウスの回転率は3回転程度。播種はトラクター牽引タイプの播種機「ごんべえ」10条用を使用し、1棟当たり30条（10条×3）、株間は6cmを基準に時期に合わせて調整します。ダンボール

栃木県開拓農協・鶏頂山生産組合

栃木県開拓農協・鶏頂山生産組合は栃木県の北西部に位置する日光国立公園にあり、関東における夏のホウレンソウの重要な産地です。標高は1,200m。高冷地特有の朝晩の大きな温度差だけでなく、さわやかな空気と水に恵まれており、その中で栽培されたホウレンソウは鮮やかで葉肉も厚く、甘く、えぐみが少ないなど、その品質は折り紙付きです。また、主要な消費地である関東各地へ3～4時間程度で運ぶことができます。冬季は雪に覆われるので、ホウレンソウの播種は雪解けを待って4月中旬頃始まり、収穫・出荷は5月下旬から11月中旬まで続きます。生産者数は15戸。研究熱心な農家が多く、種子、資材などの情報を積極的に収集し、いち早く取り入れる姿勢も良品の安定生産につながっています。

出荷で、昨年より資材その他の価格高騰対策として鮮度保持フィルム袋を使用し、1箱170g×30袋入りとしています。今年より導入した「晩抽サマージェット」はTSP594として試作していました。抽苔なく、高温期の生育が安定して作業性もよいことから、今年は6月上旬～20日まで播種しています。なお、その前後の作型では「晩抽サマ



←↑
富田さんの作業場にて。
作業場では運びこまれた
コンテナから、検品とと
もにすぐに自動包装机へ。
草姿が立性で葉柄がしな
やかなため、葉が突っ張
ることもなく包装も容易。



↑板橋さんの圃場にて。圃場で収穫と同時に調製、
計量を行う。クズが少なく立性で葉柄が折れに
くいので作業も順調。



↑富田茂之さん。「晩抽サマージェット」は
生育が安定し、作業性もよいので思わず
にっこり。

「ヒット」を使用しています。
板橋さんに栽培に際して注意してい
る点と「晩抽サマージェット」の評価
をお聞きました。
「品質はもちろん、播種～出荷までの
日数を安定させ、かつ作業性のよい形
状に仕上げたい。結果として作業の波
が少なくなり出荷数が安定します。そ
の中で今の大きな課題は高温期の生育
停滞と作業性です。従来の5月中旬～
6月播種の極晩抽の品種では高温や灌
水の程度で生育が停滞したり、開帳ぎ
みに育って作業性に問題を起したり
しますが、『晩抽サマージェット』は生
育、形状共に安定しており、もちろん
抽苔^{ちゅうたけ}もなかったですね」
また、発芽ぞろいが安定し、クズが
少ない点、葉柄が太く作業性がよい点
も喜んでおられました。
来期も最も抽苔の心配がある時期に
「晩抽サマージェット」を使用し、そ

の前後に「晩抽サマーヒット」を組み
合わせることで出荷の安定を図りたい
とのお話でした。

富田茂之さんの 栽培概要と評価

雨よけハウス栽培で間口5・4mハ
ウスを150棟使用し、その年の雪解
けに合わせて4月中旬ごろから9月下
旬まで品種を使い分けながら順次播種
します。播種はトラクター牽引タイプ
の播種機「ごんべえ」10条用を使用し
て1棟当たり30条(10条×3)、株間は
6cmで、栽培後半は気温の低下を考え
ながら5・5cm程度とします。ダンボ
ール箱出荷で、1箱200g×25袋入
りです。
「晩抽サマージェット」は2年前より
試作し今年導入しました。抽苔がなく、
高温期の生育が安定していたことから、
今年は6月1日から20日まで播種し、
その前後は「晩抽サマーヒット」を使
用しています。「コンスタントに良品を
出荷することで市場の信頼を得られ、
経営も安定します。生育日数は『晩抽
サマーヒット』より2～3日多くかか
りますが、共に高温期の生育停滞は少
ないですね。特に抽苔が問題となる時
期に『晩抽サマージェット』を使用す
ることで安定生産でき、品種の切り替
え時もスムーズです」と2品種を使い

こなされています。
**白色系遮光ネットの
導入が始まる**

鶏頂山ではハウス内で調製、計量ま
で行うため、作業時の暑さ対策として
黒の遮光ネットを使用していましたが、
栽培時の遮光はほとんど行っていま
せんでした。しかし、近年の高温化に伴
い、今年から本格的に栽培時にも遮光
ネットの導入が始まりました。使用時
期や方法は各農家が模索中ですが、遮
光方法、遮光率、灌水時間、灌水量、
品種は密接に関係します。「晩抽サマ
ージェット」は高温期の生育が安定し、
灌水管理は従来の極晩抽品種と同等の
管理となるので、現状はこれらの資材
とも組み合わせやすい品種とのことで
した。「晩抽サマージェット」の導入
が夏季ハウレンソウの安定生産に貢献
できれば幸いです。



↑葉が絡みづらく収穫がしやすい立性草姿
の「晩抽サマージェット」。(富田さんの
圃場にて)